

①医師の立場を利用し、薬剤問屋、薬局の結託したリベートの不正受給について

1. 株式会社エムコムは、株式会社松藤メディカルに対し、医薬品を卸している。医療法人森眼科内科は、松藤メディカルの近隣で眼科・内科をしており、森眼科内科を受診した患者に対し、医薬品購入店舗として、松藤メディカル（八坂薬局）を紹介している。
2. エムコムは、合同会社メディカルコンサルタント近藤や株式会社トータルプランナーHomeMに対し、コンサルタント料として、粗利の50%を支払っている。しかし、コンサルタント料として粗利の50%を支払うなどという契約は、経済合理性がなく、何らかの意図があってコンサルタント料を支払っている可能性が高い。なお、メディカルコンサルタント近藤は代表社員が近藤勝己、トータルプランナーHomeMは代表者が近藤勝己、100%株主が森茂である。
3. 保険薬局は、保険医療機関又は保険医に対してリベートを支払うことを禁止している（保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則第2条の3第2項）。そのため、メディカルコンサルタント近藤及びトータルプランナーHomeMを設立して、森茂に対するリベートを迂回させたものと考えられる。
※調剤薬局のトンネル会社を設立させ高級外車の資金源等に当てている。
4. 森茂は、メディカルコンサルタント近藤やトータルプランナーHomeMから給与や報酬を受領するのではなく、森茂の趣味である高級車の購入費、交際費を森茂が自由に使えるようにする形で利益を得ている。実際、十八総合リースでの自動車リース契約の際に、両方の代表者ではない森茂が契約に来ていることは、当時の担当者からも確認がとれている。
また、森茂は、これまでも複数回に渡り自動車事故を起こしており、その際には(有)赤瀬商事から提出される修理費の見積が高額過ぎるのとの疑惑が保険会社社内に出ていることを当時確認しております。
5. 森茂の医療法人からの報酬は、配偶者が管理しており、自由が利かないため、趣味である高級車、交際費の捻出のために作られたスキームであると考えられる。
6. 当初、森茂が親族や配偶者に秘密のまま中央福祉会を設立しようとしていたことは、メールから明らかであると思料いたしますので、ご確認下さい。また、リベートが高級車の購入費に費消されていることについては、貴署が何社かの自動車会社からの調査で明らかにされていると思料いたしますので、ご確認下さい。